

中遠地域の農業・林業の話題をお届けします！



きらり中遠 ホットニュース

静岡県中遠農林事務所

令和4年8月24日 発行(第1号)

本気の農業経営改革セミナーを開催しています

(生産振興課)

令和4年5月27日(金)、自身の経営を変えたいという思いを持った農業経営者を対象に、令和4年度「本気の農業経営改革セミナー」を開講しました。

本セミナーは、講師の(有)ル・メルシー 佐々木敦史氏から、6回シリーズで経営管理手法を学びます。

今年度の受講生は16人となり、第1回セミナーでは、「出来る人の思考と仕事で結果が出るメカニズム」をテーマに、経営者として重要な考え方や、安定した利益の捉え方について講義を受けました。

また、6月のセミナーでは、売上げを増やすために必要な思考やデータの活用手段について、7月のセミナーでは、スケジュール管理の必要性やその注意点について学びました。

当セミナーは、今後も月1回のペースで開催し、受講生の経営改革へ向けた意識継続と実践を支援していきます。



中遠地域農地利用連絡会を開催しました

(生産振興課)

当所では、農地の利用に関して「中遠地域農地利用連絡会」を組織し、農地集積の推進や荒廃農地対策等について関係機関・団体で共有する場を設けています。

今年度5月から6月にかけて、人・農地プランの「地域計画」や「目標地図」の作成、農地バンクの推進等を目的に、6市町で個別に検討会を開催しました。

各会には、市町、JA、農業振興公社中遠駐在、土地改良区が参加し、当所から、人・農地プランの「地域計画」作りでは、「モデル地区」を設置して試験的に進めるよう提案しました。

参加者からは、「変更可能な柔軟な計画を作りたい」、「人・農地プランとは別の区域として作る方が良い」等意見が出された。

今後も連絡会を重ね、「モデル地区」の選定や地域計画作成のための要望等を聞き取り、市町の計画作成を支援していきます。



中遠地域農業振興協議会総会を開催しました

(企画経営課)

当所は、農業関係機関の相互連携を深め地域農業の振興を図るため、管内の6市町、4JA、中央会、経済連の各支所及び農林事務所からなる中遠地域農業振興協議会の事務局を務めています。

令和4年6月14日(火)に、中遠総合庁舎において令和4年度の総会を開催し、全ての議案が無事承認されました。

総会終了後は、「静岡県食と農の基本計画」の説明を行うとともに、農業の抱える課題や対応策等について情報交換を行いました。

「今年のお茶の販売が厳しく、有機茶の生産を推進していく」、「肥料等の高騰による支援策はどうするのか?」、「改めて農業者の意向把握を行っていく」等活発な意見交換がありました。

当所では、引き続き関係機関と連携し地域農業の振興に取り組んでいきます。



いちご栽培スクールを開催しています

(生産振興課)

令和4年4月18日に、いちごの新規就農者と就農予定者計8人を対象として、令和4年度「いちご栽培スクール」を開講しました。

本スクールは、いちご生産を始める受講生の収益確保が確かなものとなるよう、栽培技術の習得支援を目的に、管内3つのJAと協力し、来年1月まで毎月開催します。

7月までの4回では、いちごの生理生態や親株の整理、定植前の準備について学んでいただきました。

各回とも講義の後には、先輩農家のほ場見学を設定しています。ほ場見学では毎回、受講生から多くの質問が寄せられ、活発な情報交換がされています。

当所では、引き続き、いちごの新規就農を支援していきます。



送風式捕虫機による害虫の防除試験を実施しました

(企画経営課)

令和4年7月11日(月)に、(株)かけがわ有機の郷(掛川市)の有機栽培茶園で、薬剤を使わず害虫を防除する試験を実施しました。

有機栽培の現場では、二番茶期以降のチャノミドリヒメヨコバイの多発が課題となっています。そこで、物理的に害虫の密度を抑え、来年の一番茶の母葉となる三番茶芽を健全に生育させるのが狙いです。

送風式捕虫機は、水を含ませた風を送りながら摘採と同様に茶園を走り、回収袋に虫を集める仕組みになっています。処理直後の叩き落とし調査では、捕虫0匹となり、高い防除効果が確認されました。

この効果は長続きしないため、今後も5日に1回、計4回の処理を行います。

当所では、秋まで週1回虫数の調査を継続し、秋の茶樹の状態を確認して効果を検証していきます。

捕虫機の説明



回収袋



豚熱経口ワクチンを散布しています

(地域振興課)

県では、野生イノシシによる豚熱ウイルスの拡散を防止するため、野外へ定期的に豚熱経口ワクチンを散布しています。野生イノシシに免疫をつけることで、養豚農場での豚熱の発生を防止します。

散布作業は、市町や猟友会の皆様の協力なくして実施できません。

作業前の5月、管内6市町毎に打合せ会を開き、散布計画を話し合いました。当日は、当所から情報提供として、野生イノシシにおける豚熱の陽性確認状況や、免疫獲得率の報告、昨年度の経口ワクチン散布実績等を報告しました。

続いて、猟友会が中心となり、野生イノシシの集まる場所をもとに散布場所を設定しました。今年度は前期に、管内62カ所で2回散布することに決まりました。

作業は、6月から8月の24日間に、約2,500個の経口ワクチンを散布し、概ね1週間後に空容器を回収しました。

当所では、後期の散布に向けて、引き続き、猟友会や市町と連携を密にしながら取り組んでいきます。



特定家畜伝染病防疫対応研修会を開催しました

(家畜衛生課)

令和4年7月7日(木)、中遠総合庁舎で特定家畜伝染病防疫対応研修会を開催しました。

感染症対策として、午前と午後の2回に分けて行い、西部地域局、中遠農林事務所、西部農林事務所、天竜農林局、西部健康福祉センターから計93人が出席しました。

現地対策本部の組織体制、令和3年度の豚熱防疫対応での課題と対応、現地班の作業内容について説明した後、総務班、防疫支援班、焼埋却支援班及び移動規制班消毒ポイント係は、各班毎に作業内容の確認と課題や疑問の洗い出しを行いました。

今後も班ごとの打合せや防疫演習を重ね、発生時に迅速に対応できるよう体制を整えていきます。



【ふじのくに美しく品格のある邑】 「こがね色の里」田んぼアートが見頃です

(農村整備課)

ふじのくに美しく品格のある邑「こがね色の里(菊川市下内田)」では、田んぼアートの活動を長年にわたり続けており、地域の一大行事となっています。昨年度は、活動が評価され、ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合の「連合奨励賞」を受賞しました。

15年目となる今年の田んぼアート菊川は、干支にちなんだ「寅」をモチーフにしており、7種類の古代米を使った立体的な絵が、見事に浮かび上がりました。

当所では、美しく品格のある邑の取組を支援していきます。



水田農業基盤整備及びICT水管理システムに関する説明会を開催しました

(農村整備課)

令和4年7月4日(月)、磐田用水東部土地改良区において、改良区理事、水利組合長、農業委員、農地利用最適化推進委員、市町担当者等を対象に、水田農業基盤整備及びICT水管理システムに関する説明会を開催しました。

袋井市と磐田市にまたがる「浅羽・浅名・福田豊浜」地域は、県内屈指の穀倉地帯ですが、農業農村整備事業完了後、約30年が経過しており、用排水路や暗渠排水等の機能低下が進行しています。

また、平成29年度から令和元年度の3年間、本地域において水田水管理システムに関する実証研究に取り組んだことから、現在も地区内では自動給水栓を活用した水管理の省力化に取り組んでいます。

中遠農林事務所では、農業従事者が減少する中、本地域の優良農地を今後も維持していくため、ICT水管理システムの導入推進に取り組んでいます。



【美農里】一宮の水と環境を守る会が宮園小学校と水生生物観察会を行いました

(農村整備課)

令和4年7月13日に、美農里の活動組織「一宮の水と環境を守る会」が森町の宮園小学校5年生と水生生物観察会を行いました。

この観察会は10年以上継続的に行われており、宮園小学校でも年中行事として位置付けられています。

まず、5年生の児童38人と引率の先生方、特別講師に迎えた静岡大学の加藤先生を含め総勢49人で田んぼ周辺水路に入り、ポケット図鑑を片手に水生生物をたも網ですくいました。

続いて、捕まえたメダカやエビを水槽に移して観察しながら、加藤先生から生態や外来種の広がりなど水生生物を取り巻く環境について講義を受けました。

森町一宮では、現在も豊かな環境が保全されています。これらの環境は地域の農業がしっかり営まれ、農家の方々が水田や周辺の道水路を大切に管理しているからこそ保たれていることを児童に伝えました。



茶生産者が輸出 EXPO に参加しました

(企画経営課)

令和4年6月22日から3日間、東京ビックサイトで、1万8千人が来場した商談会「輸出EXPO」が開催されました。

海外の販路拡大を進める御前崎市の茶生産者「やまも満寿多園(株)」も参加し、自身の栽培方法や商品をアピールしました。

今回の商談会では、お茶だけでも18社以上の出展があり、液体の濃縮茶や、粉末状のお茶（ラテや粉末茶）など、急須を使わない海外の人向けの商品が多くありました。

当所では茶に関する新しい情報を収集して管内へ発信し、茶業の経営発展に取り組んでいきます。



発行：静岡県中遠農林事務所

〒438-8558 静岡県磐田市見付 3599 番 4 号 電話 0538-37-2272 (企画経営課)

E-Mail : nourin-chuen-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-760/>